



日本一の剣士から学ぶ
令和7年度市スポーツ研修会開催

2月14日㊦に、第70回全日本剣道選手権大会で優勝した村上哲彦選手による講話が中央公民館で行われました。村上選手は、目標を明確にし稽古に向き合う姿勢の大切さなどを語り、参加者は熱心に耳を傾けていました。研修会終了後、農林業者トレーニングセンターで、少年剣士に指導が行われ、基本の確認や実践練習を通して、日本一の選手の技術と考え方に触れる貴重な機会となりました。

公共交通機関でエコを実践
北吉井小学校でエコ交通教室

2月25日㊦の授業で伊予鉄バス(株)と市都市整備課が連携し、同教室を実施しました。子どもたちは、公共交通機関を利用することが二酸化炭素排出量の削減に繋がることや、バス、電車の乗り方などを学び、翌26日㊦の遠足では、実際に電車やバスに乗って松山市へ。授業で学んだことを思い出しながら、マナーを守って、楽しく公共交通機関を体験していました。



地域で支える防災力
消防出初式を開催

3月1日㊦に、総合公園多目的グラウンドで出初式が開催され、消防団員による小型ポンプ操法や、長年消防活動に尽力した功労者等へ表彰が行われました。また、少年消防クラブの子どもたちが、年末から練習してきた心肺蘇生法などの救助訓練を実演しました。出初式を通して、参加者は防火、防災対策の意識を高め、決意を新たにしていました。



3年間ありがとうございました *Keep up the good work*



りょうじ 小崎 陵司 さん (36)

中山間(河之内地区)担当
 趣味のマウンテンバイクを通じて、移住体験ツアーやトレイル整備などを行い、河之内の活性化に貢献。「地域の皆さんに優しく見守ってもらえたおかげで、3年間活動していくことができました。ありがとうございました」



ゆい 中村 友惟 さん (26)

アートヴィレッジ構想担当
 どうおんアートヴィレッジフェスティバルの企画、運営のほか、チラシやSNSでの広報に尽力。また数々の演劇公演で音響や照明担当を務めた。「3年間を振り返って、本当に多くの人に支えていただいたと思います。全ての出会いに感謝しています」



なみね 木村 波音 さん (31)

アートヴィレッジ構想担当
 東温で作る音楽劇「オリビアを聴きながら」の企画、運営を始め、どうおんアートヴィレッジフェスティバルでスタッフや演者としても活躍。「3年間を通して人生や演劇について考えることができました。次は市職員として地域に恩返ししたいです」

若い力がまちに新たな刺激を与えました
地域おこし協力隊の3年間の報告

2月24日㊦に、市役所会議室で地域おこし協力隊活動報告会が開催され、昨年度末で任期を終えた3人の隊員がこれまでの活動を振り返りました。令和5年に市内に移住した同隊員は、それぞれの趣味、技術を活かし、マウンテンバイクや演劇を通じた地域おこしの取組を報告していました。任期を終えた皆さんが、今後ますます各分野で活躍されることを願っています。



東温高校生の個性と芸術が光る
東温フェスティバル開催

2月15日㊦に、坊っちゃん劇場で県立東温高等学校の文化芸術発表会(東温フェスティバル)が開催され、各部活動やスポーツ健康類型の生徒が、日頃の活動の成果を披露しました。吹奏楽部部長の中野ちとせさんは、「吹奏楽部は9人で活動していて、普段は少人数で演奏していますが、今日は愛媛大学医学部吹奏楽部の皆さんと一緒に大人数で演奏できて楽しかったです」と笑顔を見せていました。



花言葉は「君に微笑む」「希望」 商工会女性部がさくらひめを市長へ

さくらひめの販売やPR活動を行っている商工会女性部が、2月24日(土)に、市長を表敬訪問し、さくらひめの花束を贈呈されました。

部長の大政美智子さん(写真左から2番目)は「例年11月頃が収穫時期のところ、今年は咲いては咲き止むという状態が続き、2月の収穫となりましたが、とても可愛らしいお花に仕上がっています」と笑顔で話していました。



長年にわたり地域福祉の向上に尽力 厚生労働大臣功労章を受賞

民生委員・児童委員の森妙美さん(写真右から2番目)に、厚生労働大臣から功労章が授与され、2月17日(土)に、市長から表彰状が伝達されました。

森さんは、平成16年に民生委員・児童委員を委嘱されて以来、地域の人たちに寄り添った支援を継続し、地域福祉の増進に貢献されました。伝達の際には、「地域の皆さんが大好きで、多くの人と関わることが何よりの喜びでした」と笑顔を見せていました。

差別のない社会を目指して 重信中学校で教職員向け人権学習会

福祉館では、年2回市内の小、中学校に出向いて学習会をしています。2月19日(土)には、八幡浜市ふれあいセンターの登口加代館長を講師に迎えて重信中学校で学習会を開き、「八幡浜市の小学生が同センターを訪れて人権を学ぶ『現地学習会』」を題材とした模擬授業を行いました。参加した教職員からは、「教師として、生徒に正しい知識を伝えていきたいと改めて感じました」という声が上がっていました。



コミュニケーションのコツを学ぶ 働く女性向けのセミナーを開催

3月4日(土)に、男女共同参画市民向け講座として、女性の活躍推進を目的に「働く女性のためのコミュニケーション力&雑談力アップセミナー」を中央公民館で開催しました。市内出身の木曾千草先生を講師に、実践を交えながら学び、参加者からは「初めて会った人ばかりでしたが楽しくお話できました。『雑談はオチがなくてもいい』ということに安心しました」という声が上がっていました。

災害時に安定してストーマ用装具を供給できるように (株)アスティスと協定締結

2月17日(土)、(株)アスティスと「災害時におけるストーマ用装具の供給及び保管等に関する協定」を締結しました。この協定は、災害発生時、オストメイト(人工肛門や人工膀胱の利用者)にストーマ用装具などを無償で安定して供給できる体制を整えるものです。協定式には、愛媛大学地域低侵襲消化器医療学講座の石丸啓教授(写真左端)も参加し、オストメイトの支援について連携を深めました。



互いの強みを活かしてより良いまちづくりを ネットトヨタ瀬戸内(株)と協定締結

2月12日(土)、ネットトヨタ瀬戸内(株)と包括連携協定を締結しました。この協定は、防災、交通安全、公共交通、移住者支援、産業振興、教育等の分野において、互いの資源を有効活用しながら協力し合い、市民サービスの向上を目指すものです。同社代表取締役の平松龍一さん(写真左)は、「デマンド交通(予約方式の公共交通)などの分野で貢献できるのではないかと考えています」と話しました。

東温愛が溢れる素敵な作品に ふるさと東温市への思いをCMに

県立東温高等学校放送部と市内の動画制作会社のstudioかわうちが、ふるさとCM大賞えひめ'26の出品作品としてCMを制作しました。

作品は、3月29日(土)16時から放送される特番終了後、eat愛媛朝日テレビの公式YouTubeチャンネルで見ることができ、4月にはテレビCMとして放送されます。なお、今年度も作品を募集予定です。詳細は広報紙、市HP等でご案内します。



▲県立東温高等学校放送部

▲studioかわうち



政財界で活躍したエネルギッシュなメンバーが バンド演奏で地域に笑顔を届ける

2月28日(土)に、ウェルケア重信で開催されたイベントに、愛媛の有志バンド「The Ten Colors」が参加し、施設利用者や地域の人々の前で演奏を披露しました。65歳でドラム演奏を始めたメンバーがいるほか、アナウンサーの滝香織さんがボーカルを務めて昭和歌謡を歌うなど、エネルギーに溢れた姿を見せ、観客は楽しそうに音楽に身を委ねていました。